

「(仮称) 上田地域クラブ」の名称について（参考）

部活動の地域展開が進む中で、地域クラブの愛称は全国各地で工夫されている。全国の事例を参考に、上田市の認定地域クラブの総称として、子どもたちが親しみやすく分かりやすい名称としたい。

	パターン	特徴	名称例
1	地域名 + 「活動」や「クラブ」	市名と活動を組み合せた愛称で、「部活」のような響きを意識。子どもたちが日常的に使いやすいよう、短く覚えやすい名前。	・コベカツ（兵庫県神戸市） ・とよカツ（愛知県豊田市） ・まつチャレ（長野県松本市）
2	地域名や活動内容を組み合せた造語	①三木市とアクティブ（活動的）を組み合せた造語 ②スポーツとカルチャーを組み合せた造語	①みきタイプ（兵庫県三木市） ②スポーカル六本木（東京都港区）
3	地域の歴史や故事を取り入れた名称	教育が将来の繁栄につながる故事を用い、米をComeと表記して皆が集まるることをイメージ	・ながおか Come100 クラブ（新潟県長岡市）

【命名のポイント】

全国の事例を見ると、地域クラブの名称は以下のポイントを意識して検討されている。

○地域名を含める

自分たちの街の活動だと分かりやすくなる。「上田」を盛り込むことで、愛着が湧きやすくなる。

○親しみやすい略称にする

子どもたちが口にしやすく、覚えやすい響きが重要。学校の「部活」のような響きを取り入れることで、自然に受け入れられやすくなる。

○活動内容をイメージさせる

「スポーツ」「文化」など、どのような活動をするのか伝わる言葉を入れると、参加を検討する際の判断材料になる。

○将来性のある言葉を選ぶ

「活動」「挑戦」「交流」など、勝ち負けだけでなく、成長や学びを重視する意味合いを持つ言葉を選ぶことで、多様な活動に対応できる。